説明文教材の系統表（５年）

加須市立豊野小学校

５年	１　学　期	２　学　期	３　学　期
単元名 教材名	文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう 「言葉の意味が分かること」	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう「固有種が教えてくれること」	事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう「想像力のスイッチを入れよう」
段落数	形式段落　１２ 意味段落　　５	形式段落　１１ 意味段落　　４	形式段落　１６ 意味段落　　４
文章構成	結び：筆者の主張 ⑫ まとめ：中1、中2のまとめ ⑪ 中2：「言葉の意味に範囲がある」ことの説明 ⑤⑥⑦⑧⑨⑩ 中1：「言葉の意味に広がりがある」ことの説明 ②③④ はじめ：話題提示、筆者の主張 ①	まとめ・結び：事例のまとめ 筆者の主張 ⑪ 中2：日本の固有種の現状 ⑧⑨⑩ 中1：日本の固有種の多さとその理由 ③④⑤⑥⑦ はじめ：固有種の説明 筆者の主張 ①②	結び：筆者の主張 ⑯ まとめ：メディアの特性 ⑮ 中：事例3 報道 ⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭ 想像力のスイッチを入れるときに大切なこと はじめ：筆者の主張 事例2 メディアの説明 図形 事例1 マラソン大会 ①②③④⑤⑥ 想像力のスイッチの必要性
学ばせたいこと【表現の仕方10の指導事項】	・定義（「言葉の意味に広がりがある」とは） ・比較（母語と外国語） ◎因果関係（原因と結果） ◎結果→原因の事例の表し方 ・図（説明の補足） ○事例の枝分かれ →「言葉の意味に範囲がある」の事例は⑤⑥⑦（母語を学ぶとき）、⑧⑨⑩（言語間の違い）にさらに分けられる。 ◎「主張の根拠」の対比【⑥】 ◎双括型【⑨】	・定義（「固有種」とは） ・対比（日本とイギリス）【④】 ◎因果関係（日本に固有種が多いわけ） ◎図表やグラフ、写真（資料を使った説明） ・書き出しの工夫 →一般的なウサギとアマミノクロウサギを比較して、固有種の説明をしている。 ・原因と結果 ・双括型【⑨】	・定義（メディア、想像力のスイッチ） ◎類比（様々な報道例） ・順序（わかりやすい→わかりにくい）【③】 ◎筆者の論の進め方（初めから読者が共感しやすい事例を入れて、主張を分かりやすくしている。） ・図を使った説明 ・双括型【⑨】
学ばせたいこと　用語	◎要旨 ◎原因と結果 ・はじめ、中、まとめ、結び ○文章構成図	・要旨 ・原因と結果 ・文章構成図 ◎統計資料	○事実と印象、批判　○メディア ・文章構成図 ◎事例と意見 ○比喩
学習活動【学習過程】	・初発の感想、形式段落分け【確】 ・各段落の要点をまとめる【要】 ・意味段落に分け、構成を考える【構】 ◎要旨をまとめる、自分の考えを書く【吟】	・初発の感想、形式段落分け【確】 ・各段落の要点をまとめる【要】 ・意味段落に分け、構成を考える【構】 ◎要旨をまとめる、資料を使って自分の考えを書く【吟】	・初発の感想、形式段落分け【確】 ・各段落の要点をまとめる【要】 ◎意味段落に分け、構成を考える【構】 ・事例を挙げて説明する効果を考え、自分の考えを書く【吟】
言語活動例	・第３次　筆者の考えにふれながら、自分の考えを発表する。 ★理科　原因と結果の書き方を意識して、考察を書く。	・第３次　資料を集め、グラフや表を使って、自分の考えをまとめる。 ★総合　「米づくりについて、資料を使って、まとめよう」	・第３次　メディアとの関わり方について、自分の考えを友だちと伝え合う。

◎は、特に学ばせたいこと　　○は、初めての読み方　　★は、国語以外の活動とのつながり